

終了報告書<短期プログラム(3か月未満)用>

報告年月日 2017 年 9 月 17 日

留学プログラム名	UC Davis Extension English for Science and Technology		
所属学院等 (学院/類/学部/研究科)	工学部 3年		
留学先国	アメリカ合衆国		
留学先大学等	カリフォルニア大学デービス校		
留学期間	プログラム期間:	2017年8月11日～2017年9月8日	
	実際滞在期間:	2017年8月9日～2017年9月11日	
留学中に受給した 奨学金	受給の有無:	有	種別: 給付
	奨学金名称:	JASSO 海外留学支援制度	
		月額	8万 円

報告書について

- 上記内容に加え、**下記の①～⑪の内容についても併せて**提出すること。別ファイルでも、この報告書の下に書き続けても構わない。ただし、①～⑪の各項目がわかるようにすること。また、公開してもよい写真がある場合は、①～⑪の各項目の中に貼付することが望ましい。
- 提出先:各プログラム担当部署 (word ファイルで提出すること。)

報告事項

① 留学先(参加プログラム/受入れ機関)の概略

参加プログラム名 English for Science and Technology

受入れ機関 University of California Davis Extension

② 留学前の準備

研究室所属の前に語学力向上、海外経験を積みたいと考え、留学情報を探し始めました。グローバル理工人育成コースに登録していたため、留学情報館からのメールで留学報告会や新着の留学情報を手に入れることができ、今回の UC Davis のプログラムを見つけました。語学の準備方法としては、渡航前に TOEIC の受験を予定していたので TOEIC 対策としての語学勉強および留学のための日常会話の英語の勉強を行いました。English for Science and Technology 語学留学の中でも理系の内容を扱うことが特徴でしたが、専門分野に関しては特に準備は行いませんでした。このプログラムは、航空券や住居の手配などが全て個人手配だったため、留学情報館の担当の方の指示に従って自分で準備を進めました。

まず、航空券は Davis に最も近いサクラメント空港までの日本からの直行便がなかったため、乗り継ぎ方法や陸路の経路など様々な選択肢がありました。HIS の店舗に行き価格、離着陸時刻、乗り継ぎ時間を考慮した上で、行きはサンフランシスコ空港経由、帰りはロサンゼルス

空港経由の航空券を手配しました。航空券は早ければ早いほど安く手配できる上にホームステイの申込などにも関わってくるので最優先で手配しました。

ビザの申請はアメリカ大使館のホームページから申請方法などの詳細情報を入手し大使館での面接があるとのことだったので、早めに申請を進めました。申請、面接、発行まで問題なくスムーズに進めることができました。

住居に関してはホームステイと決めていたので、留学情報館から紹介されたホームステイの会社のホームページより申し込みを行いました。ホームステイのオプションで、現地で使う自転車と携帯電話のレンタルおよび空港からのピックアップサービスも同時に申し込みました。この会社のレスポンスはあまり早くはなくホームステイ先が決まったのは渡航の1週間前と少し焦りましたが、会社の担当の方とこまめにメールやLINEで連絡を取り、きちんと手配することができました。

③ 留学中の活動及び感想

今回のプログラムは日本人がとても多いプログラムで、私のクラスは全員日本人だったため授業以外の時間にもできるだけ英語を使うように意識して過ごしました。

オリエンテーションの次の日に行われたキャンパス&Davis ダウンタウンツアーで数人の外国人の友達ができ、プログラム期間中にみんなでバドミントンをしたりご飯を食べに行ったりできたことは、私にとってとてもよい思い出となりました。また、ホストファミリーと話したり、1人でダウンタウンに買い物に行ったりすることで英語を使う機会を増やしました。

授業は平日のみ1日50分授業4コマでScience and Technologyに関するHot topicに関する授業や発音、プレゼン、起業についての授業でした。どれも少人数で積極的に発言していくスタイルの授業で、これまでに経験がなかったので刺激的でした。特に、プレゼンの授業では大学内で自分のテーマに関するインタビューを行い、その結果をまとめ、最後にプレゼンをするという内容で英語力だけでなく人前で話すプレゼン力も磨くことができました。午後は全てフリータイムだったので課題をやったり友達と出かけたりして過ごしました。

週末はプログラムのオプションツアーで申し込んだLos Angeles旅行、ホストファミリーとのOregon旅行などDavisから足を延ばして旅行に行きました。LA旅行はHollywoodやSanta Barbara、ディズニーランドなど有名な観光地を巡るツアー旅行、Oregon旅行はホストファミリーおすすめの景色がきれいな森や海岸を巡るドライブ旅行だったため、アメリカ国内の大都市と大自然の両方を見ることができ、いい経験になりました。

④ 留学を終えて、自分自身の成長を実感したエピソード

私が最も成長を実感したのは、帰りのロサンゼルス空港から羽田空港までのフライトで隣になったメキシコ人男性と話した時です。その人は同じくメキシコ人の友達と羽田経由でタイへ行くとのことで、友達同士ではスペイン語を話していましたが、1人の私に英語で話しかけてくれました。私もタイへ行ったことがあったのでおすすめのタイ料理を教えたり、機内食で出てきた日本食の説明をすることができました。これまでは、外国人と英語で雑談するなど考えられませんでした。この時は私の英語を理解して話してくれていることがとても嬉しく、もっと

いろんなことを話したいと感じました。1ヶ月間の留学を終えて、正しい英語がスラスラ出てくるほどの英語力がついたとは思いませんが、拙い英語だったとしても自分で相手に話して伝えたいと思えるようになったことが私にとっては1番の成果だと思います。

⑤ 留学費用

渡航費 20 万円、プログラム参加費 25 万円、ホームステイ費 13 万円(自転車レンタル、空港ピックアップ費含む)、ビザ発行 4 万円、保険料 1 万 6 千円、生活費 3 万 4 千円
JASSO 奨学金 16 万円受給

⑥ 留学先での住居

ホームステイ。留学情報館に紹介されたホームステイ仲介会社のホームページから自分で申込みました。私のステイ先はこれまでに 100 人以上を受け入れてきたベテランの家族で、同時期に 5 人留学生を受け入れていたためステイ先でも日本人や韓国人の友達ができました。ファミリーはホームステイに慣れていたので、気を遣われすぎることなく過ごしやすかったです。大学までは自転車で 20 分とアクセスが良く、自由に行き来できました。

⑦ 留学先での語学状況

留学を決めてから TOEIC 対策、日常会話の勉強を始め、留学前に受けた TOEIC は 760 点でした。プログラム初日にクラス分けテストを受け、上から 2 番目のクラスになりました。クラスの英語レベルはみんな同程度だったので授業などで困ることはありませんでした。ホストファミリーや街の人との日常会話ではリスニングに不安がありましたが、徐々に耳が慣れていき聞き取れる内容が増えたことを感じることができました。

⑧ 単位認定(互換)

「実践型科学技術英語海外研修」として 2 単位取得予定。

⑨ 留学経験を今後、どのように活かしたいか

初めての海外生活は、毎日が新鮮でとても楽しく過ごすことができました。英語力については留学を通してリスニング力の向上が感じられたので、今後も英語の学習を続けてさらにレベルアップしていきたいと思います。また、今回の留学では英語力向上だけでなく、初めての環境で仲間と協力して様々なことを乗り越えるという貴重な経験ができました。言語や文化が違って仲間として助け合ったり楽しい時間を過ごせるということを身をもって実感し、一生忘れられない思い出となりました。今後は、積極的に外国人と交流する機会をつくり、海外に目を向けていきたいと思いません。

⑩ 留学先で困ったこと(もしあれば)

行きの飛行機で乗り継ぐ予定だったフライトが悪天候のために欠航となり、その対応に苦労しました。空港のカウンターでバス輸送を案内され、預けた荷物は既に届けてあると言われたため

バスに乗りました。やっとの思いで目的地の空港に到着しましたが、届けてあると言われた荷物は翌日まで届かないと言われ、荷物を持たずにホームステイ先に行きました。到着時間は予定より5時間ほど遅れましたがホームステイの会社の人に連絡を取り続け、自力で目的地まで行くことができました。1カ月の留学生活の中で最も長くつらい1日でしたが、たくさんの人と関わり、助けられて今となってはいい思い出です。

⑪ 留学を希望する後輩へアドバイス

大学入学当初は留学に全く興味がなかった私が今回留学を決めたのは、周りの友達の多くが留学に行っていたこと、海外旅行に行って外国も楽しいところだと感じたことがきっかけでした。不安と期待を持って臨んだ留学でしたが、留学期間中、留学を終えた今、留学したことを後悔する瞬間は一瞬もありませんでした。実際の留学はイメージしていたものと同じ部分も違う部分もあり、楽しいだけでなく、実際に行ったことで学べたこと、感じたことがたくさんありました。このプログラムは、ホームステイや航空券が全て個人手配で苦勞することも多かったですが、その分とても勉強になりました。1ヶ月間の留学生活は楽しいことも大変なことも想像以上に盛りだくさんで、長いようで短いものでした。私にとって留学はとても勇気のいることでしたが、挑戦して本当によかったと思います。もし留学を考えている人がいたら、ぜひ挑戦してみてもらいたいと思います。頑張ってください！